

自主的環境保全活動の取り組み状況（令和５年度）

（事業所名）DSL. ジャパン株式会社赤穂工場

1 環境保全活動に関する方針等

1－1 環境保全活動に関する方針

赤穂工場方針

『湿式シリカの合成技術を通じて、多様化するお客様のニーズを創造し、高付加価値の製品とサービスを提供いたします。お客様と社員に安全と安心をお届けするとともに、汚染を予防し環境保護に努め、コンプライアンスを重視して社会貢献を積極的に進めます。』

行動指針

1. 継続的改善

環境・安全衛生、品質、食品衛生ならびにハラルに関して、目的・目標・プログラムを設定し、パフォーマンスの継続的な改善に努めます。

2. 管理体制の整備

構築したマネジメントシステムの責任と権限を明確にし、欠陥等が生じることの無いよう継続的に内部監査を実施し改善・改良に努めます。

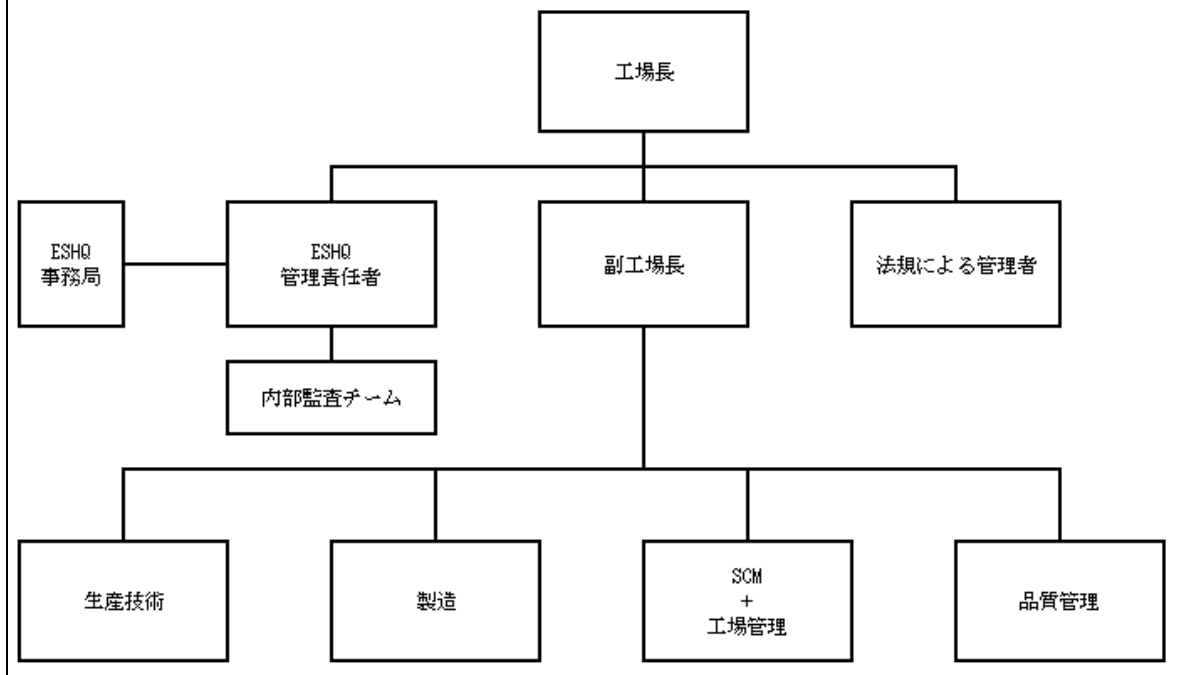
3. 法・規制の遵守

お客様からのニーズ、自社で定めた基準、地方自治体法規制の要求事項を把握し、それらに適合した事業活動を実施します。

4. 教育およびコミュニケーション

環境、安全衛生、品質、食品衛生およびハラルについての教育・訓練を重視するとともに、事業活動を通じ関係諸官庁・地域住民とのコミュニケーションを図り、求めに応じて必要な情報の開示をする。

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
ESHQ委員会 (2回／年)	環境教育(E)および啓発活動を行い、全従業員の環境意識と環境保全活動推進意識向上を図った。環境関係の法律、条例、自社で定めた基準、業界及び社会が要求する環境規制を遵守した。	継続
廃棄物削減 (製品 t 当たり 廃棄物発生量 k g)	2023年目標 : 39.0kg/t 2023年実績 : 44.7kg/t	2024年目標 : 44.0kg/t

省エネ促進 (製品 t 当たり CO ₂ 排出量 t)	2023年目標 : 1.40t/t 2023年実績 : 1.49t/t	2024年目標 : 1.47t/t
省エネ促進 (製品 t 当たり 水使用量m ³)	2023年目標 : 53.3m ³ /t 2023年実績 : 57.0m ³ /t	2024年目標 : 56.3m ³ /t
設備的な環境管理の 強化	バグフィルターの不具合等による粉じん漏れをタイムリーに検知できるように、2号・3号プラントの排気配管へとダストモニターを設置した。	未設置のプラントへ横展開
工場内巡視	環境保全維持活動として、事業所内施設・産業廃棄物置場等の重点的にパトロールを行い、不要物が放置されていないかを確認した。	継続
クリーン兵庫運動 赤穂市ゴミゼロの日	工場と赤穂港間（県の管理地）の清掃美化活動を実施した。 赤穂市ゴミゼロの日に市街地美化活動に参加した。	継続